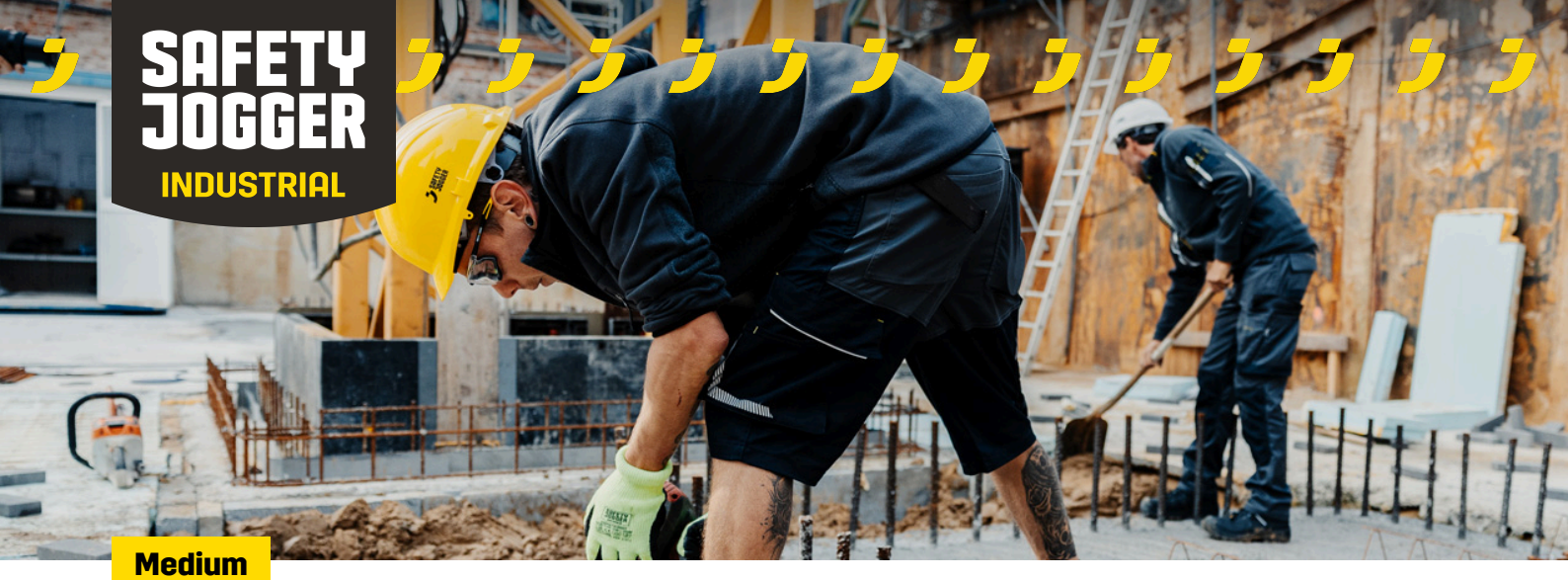
SAFETY JOGGER
INDUSTRIAL



Medium

SAFETYBOY2 S1 P

日常の安全を守るミッドカットのレザーセーフティシューズ

SAFETYBOY2は、SR耐滑性、スチール製トゥキャップ、アンチパーフォレーションミッドソール、通気性アッパーを備えた、堅牢で多目的に使用できる安全靴です。ロジスティクス、工業、建設に最適です。

アッパー	バートンアクションレザー
裏地	リサイクルメッシュ
インソール	SJエコ
ミッドソール	スチール
ランニングソール	PU
トゥーキャップ	スチール
カテゴリー	S1 P / SR, FO
サイズ範囲	EU 35-47 / UK 3.0-12.0 / US 3.0-13.0 JPN 21.5-31 / KOR 230-310
サンプル重量	0.635 kg
規範	ASTM F2413:2018 EN ISO 20345:2022



BLK

CO_2 11.19 kg



スチール製セーフティノーズ
落下物や転がり物から着用者の足を守る、堅牢なメタルサポート。



スチール製ミッドソール
耐貫通鋼板ミッドソールは、ステンレス製またはコーティングされた鋼鉄製で、鋭利なものがアウトソールを貫通するのを防ぐことができます。



通気性の良いアッパー
湿度・温度管理を強化し、快適な着心地を実現しました。



SRC滑り抵抗
耐滑靴底は、安全靴や作業靴の最も重要な機能の1つです。SRCの耐滑靴底は、SRAとSRBの両方の耐滑試験に合格しており、鉄とセラミックの両方の表面で試験されています。



帯電防止
帯電防止靴は、静電気の蓄積を防ぎ、効果的に放電させることができます。100 KiloOhmから1 GigaOhmまでの体積抵抗値



耐油・耐燃料
アウトソールは耐油・耐燃料性。

産業分野:
建設, ロジスティクス, 産業分野

エンバイロメント:
ドライ環境, 凹凸のある表面

メンテナンス方法:
靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上や熱源の近くで乾かさないでください。

試験結果:

	商品説明	EN ISO 20345	結果	測定単位
アッパー	**バートンアクションレザー**			
	上段：水蒸気透過性	≥ 0.8	2.2	mg/㎠ /h
	上段：水蒸気係数	≥ 15	25	mg/㎠
裏地	**リサイクルメッシュ**			
	裏地：水蒸気透過性	≥ 2	65.7	mg/㎠ /h
	裏地：水蒸気係数	≥ 20	525.8	mg/㎠
インソール	**SJエコ**			
	フットベッド：耐摩耗性（ドライ / ウェット）（サイクル）	25600/12800	25600/12800	しゅうき
ランニングソール	**PU**			
	アウトソールの耐摩耗性（ボリュームロス）	≤ 150	55	㎜³
	基本的な滑り抵抗 - セラミック＋NaLS - 前方ヒールスリップ	≥ 0.31	0.40	フリクション
	基本スリップ抵抗 - セラミック＋NaLS - 後方前進スリップ	≥ 0.36	0.39	フリクション
	SR 耐滑性 - セラミック＋グリセリン - 前方ヒールスリップ	≥ 0.19	0.28	フリクション
	SRスリップ抵抗 - セラミック＋グリセリン - 後方前進スリップ	≥ 0.22	0.26	フリクション
	帯電防止値	0.1 - 1000	270	メガオーム
	ESD値	0.1 - 100	N/A	メガオーム
	ヒールエネルギー吸収	≥ 20	26	J
トゥーキャップ	**スチール**			
	耐衝撃セーフティノーズ（衝撃後クリアランス100J）	N/A	N/A	mm
	耐圧性のある安全ノーズ（10kNの圧縮後のたわみ）	N/A	N/A	mm
	耐衝撃セーフティノーズ（衝撃後クリアランス200J）	≥ 14	16	mm
	耐圧縮セーフティノーズ（圧縮後クリアランス15kN）	≥ 14	17	mm

サンプル数: 42

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Jogger は登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。

エコロジカル・フットプリント:

	商品説明	結果	測定単位
CO#排出量			
	素材	8.90	kg
	包装	0.13	kg
	生産	1.90	kg
	輸送	0.26	kg
		11.19 kg CO2 / ペア	

	商品説明	結果
リサイクル素材の割合		
	Product	2%
	包装	99%

CO2の算出:
数値は小数点以下2桁で四捨五入されます。
これらの分析は、コルティナ・グループ内で開発された独自の環境計算ツールを使用して行われます。CO2値は計算時点でのものであり、変更される可能性があります。